



Leonardo Helicopters

AW139

Full Flight Simulator



フジトレーニングアカデミー

操縦士訓練

整備士訓練



*State-of-the art
Trainings*

国土交通大臣より模擬飛行装置(回転翼航空機:レオナルド式AW139型)
LEVEL Dの認定取得済
Leonardo Helicopters承認フル・フライト・シミュレータ

株式会社フジアビエーションシステムズ

FAS FUJI AVIATION SYSTEMS
GROUP

フジトレーニングアカデミーの訓練

フジトレーニングアカデミーは、イタリアのヘリコプターメーカーである Leonardo Helicopters社の認定を受けたAW139フル・フライト・シミュレータによる質の高い訓練を日本語で提供しています。ここに弊社は航空安全に貢献し、啓発することによって、日本のヘリコプター運航者の最高レベルの安全性実現に責任を持つことを宣言します。

1

実機なしでの型式限定変更を実現

フル・フライト・シミュレータのみによる受験

株式会社フジアビエーションシステムズは、令和6年3月29日付で国土交通大臣の認定を受け、操縦士の実地試験の全部をフル・フライト・シミュレータのみで行うことが可能になりました。

本訓練導入における経済的メリット

- 任務機を使用しないので、本来の業務を妨げない。
- 航空隊内部から教官をアサインする必要がない。
- 天候による遅延がなく、計画的に訓練が進められる。
- 訓練中の事故による機体破損等の心配がない。
- 訓練場所確保の必要がない。



2

最新鋭機材を駆使した近代的な訓練

航空安全と訓練を科学する

基本技術の定着から実践的な応用力養成までを身に着けるために開発された最先端の訓練機材とITメディアを駆使した教材で、訓練生の理解を深め、効率的に訓練をサポートします。



AW139 Full Flight Simulator (FFS)

カナダの CAE社で開発された模擬飛行装置で国土交通大臣より認定取得済(国内最高のレベルD)。6軸モーションと広い視野角を持ち、270以上の故障・緊急事態を再現可能。



AW139 Maintenance Training Simulator (MTS)

メンテナンス訓練用モックアップ。ロケーション、機体構造確認、基本メンテナンス訓練、操縦士の限定変更訓練外部点検教材として使用(エンジンは入手手配中)。



AW139 Flight Training Device (FTD)

国土交通大臣より飛行訓練装置の認定取得済(レベル5)基本操作手順確認、アビオニクス操作や非常操作手順慣熟、計器飛行訓練等に使用



Computer Based Trainer (CBT)

機体システム座学を訓練生の自習用にE-ラーニング形式で提供。Leonardo社のサーバーと接続しており、常時最新情報を得ることができる。

AW139

3

リアルを追求した訓練プログラム

ヘリコプターメーカーとコラボした訓練



航空技術の発展で、世界的にヘリコプターの機材故障による事故は減少してきましたが、その一方で航空機のグラスcockピットと自動化や複雑化した運航環境に起因する操縦士のヒューマンエラーが要因となるような事故や不安全事象が多く発生しています。このような時代の流れに伴い、操縦士に求められる能力が時代とともに世界的にも変化してきています。

フジトレーニングアカデミーは、ヘリコプター・メーカーとコラボレーションし、運航者にメーカーの設計思想を伝え、航空事故撲滅を目指して日々、現代の運航にあった訓練プログラムを提供しています。

レベルDフル・フライト・シミュレータの実力

緊急事態で問われるチームのCRMカ

4



フジトレーニングアカデミーのフル・フライト・シミュレータは、国土交通大臣より日本初で唯一の回転翼航空機T類及び模擬飛行装置中最高レベルDの認定を取得しています。その高い性能を駆使し、操縦士だけでなく隊員も参加する訓練は、受講者より高い評価を受けています。

操縦士の感想

“意図しない低視程状態に陥った場合の離脱要領に関して自動操縦装置を有効活用する等、理解を深めることができた。”

“ホイストケーブルに隊員が吊り下がった状態でエンジン故障が発生した場合に作業状況が把握できない限り回避動作を開始することができず、結果タイミングを逸してクラッシュしてしまった。”

隊員の感想

“これまで隊員研修や機長から教示を受けてきたが、エンジン故障時の実際の機体の挙動と操縦士の回避操縦は自分の想像とは異なるものであり、実際にFFSに搭乗してみても初めて実感を得た。”

“厳しい環境下において孤独になりがちな機長を孤立させることなく、クルーで発揮しうる能力を最大限に活用して難局を乗り越える体験を共有できたのではないかと。”

訓練コース

フジトレーニングアカデミーでは、お客様の目的に応じて様々な操縦士の訓練コースをご用意しています。詳細は該当ページをご覧ください。

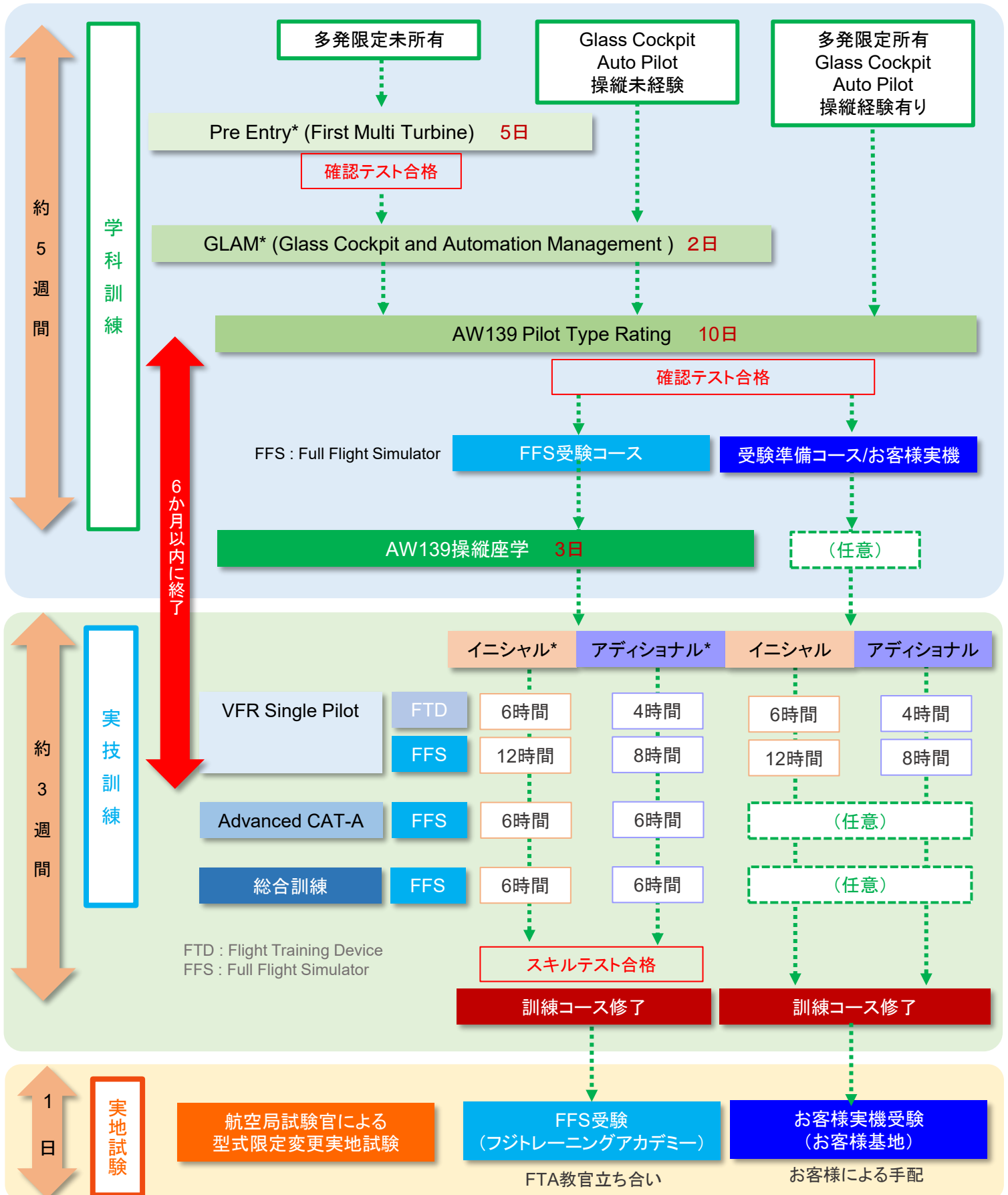
FTA : Fuji Training Academy

操縦士訓練コース

実施内容	Leonardo 認定学科訓練	FTA 学科訓練	FTD	FFS	実地試験	ページ
AW139型式限定を取得する						
① AW139 型式限定変更 (FFS受験)	○	○	○	○	FFS	6
② AW139 型式限定変更 (お客様実機受験)	○	任意	○	○	お客様手配	7
緊急時の対応能力を向上する						
③ AW139 緊急操作 (選択科目)	—	—	—	○	—	11
操縦資格を維持する						
④ AW139 特定操縦技能審査	—	—	○	FFSでも可	—	17
計器飛行を行う						
⑤ 計器飛行技量維持 (最近の飛行経験の充足)	—	—	○	FFSでも可	—	18



コース別訓練の流れ



*Pre-Entry : 回転翼航空機N類多発限定 (LMT) 以上を所有していない場合は受講が必要です。
 *GLAM : Glass Cockpit および Auto Pilot の操縦経験が無い場合は受講が必要です。
 *イニシャル : 回転翼航空機多発限定 (LMT) を所有していない場合
 *アディショナル : 回転翼航空機多発限定 (LMT) を所有している場合

① AW139操縦士 型式限定変更 (FFS受験)

このコースは、回転翼航空機における模擬飛行装置のみを使用して行うことができる航空従事者技能証明の实地試験について、国空航第2383号(令和4年1月18日付)により航空局に認められたもので、AW139操縦士型式限定変更をお客様実機を使用せず、フジトレーニングアカデミーのAW139FFSにより实地試験を実施するコースです(指定養成施設ではありません)。

座学および実技訓練の一部の内容については、Leonardo社公認のトレーニングコースの内容に則して実施します。

受講要件: 回転翼航空機の『事業用操縦士』または『定期運送用操縦士』の航空従事者技能証明
機長時間70時間以上を保有(満たしていない場合は要相談)
有効な航空身体検査証明書
及び次の①~④のいずれかに該当する場合、当FFS受験コースに入所可能です。

① 回転翼航空機に係るいずれかの型式限定の資格を有していること。

③ 操縦士实地試験実施基準(平成10年空乗第2038号)1-5に規定された受験者の技能の確認を行う者が、受験者が当該型式機における各種離陸及び着陸(垂直離着陸を除く。)の技能を有することを実機により確認していること。
* 实地試験成績報告書「②教官の証明」欄に実機教官の署名が必要。

② 回転翼航空機(自衛隊に配属されている回転翼航空機を含む。)に係る飛行時間(機長又は機長以外の操縦者としての乗務時間(操縦席以外において乗務した時間を除く。))が1000時間以上であること。

④ 自衛隊での機長としての操縦経験を有する者であって回転翼航空機耐空類別TA級又はTB級相当の機種での機長としての操縦業務に係る防衛省資格を有していることを自衛隊において作成している飛行記録等により確認できること。

使用教材: Leonardoトレーニングマニュアル、RFM(飛行規程)、Quick Reference Handbook(QRH)、操縦座学教本
使用機材: AW139FTD、AW139FFS、AW139モックアップ(MTS)
受講者は、E-Learning (Computer Based Trainer : CBT) をご利用いただけます。

訓練場所: フジトレーニングアカデミー

1. 学科訓練期間

機種名	Leonardo認定 学科訓練*			FTA学科訓練	合計
	Pre-Entry *	GLAM Transition*	Type Rating	操縦座学	
AW139	30時間 (5日間)	9時間 (2日間)	63時間 (10日間)	18時間 (3日間)	117時間 (約5週間)

*Leonardo認定学科訓練のうち、Pre-EntryおよびGLAMについてはLeonardo社教官によるオンライン学科訓練(日本語通訳付)となります。
Type Ratingについては、FTA教官による日本語での学科訓練となります。

*Pre-Entry: 回転翼航空機多発限定(LMT)を所有していない場合は受講が必要です。

*GLAM : Glass Cockpit および Auto Pilot の操縦経験が無い場合は受講が必要です。

2. 実技訓練期間

機種名	コース	Leonardo認定 操縦訓練			FTA操縦訓練	合計	实地試験 航空局 試験官
		VFR Single Pilot		Advanced CAT-A	総合訓練		
		FTD	FFS	FFS	FFS		
AW139	イニシャル*	6時間 (3日間)	12時間 (6日間)	6時間 (3日間)	6時間 (3日間)	30時間 (約3週間)	2時間 (1日間)
	アディショナル*	4時間 (2日間)	8時間 (4日間)	6時間 (3日間)	6時間 (3日間)	24時間 (約3週間)	2時間 (1日間)

*イニシャル : 回転翼航空機多発限定(LMT)を所有していない場合

*アディショナル : 回転翼航空機多発限定(LMT)を所有している場合

- 訓練お申込み前に、経歴等の確認のため、リモートによる面談をお願いすることがあります。
- 面談の内容によって、訓練時間を追加することがあります。
- 訓練終了後にはフジアビエーションシステムズより修了証が発行されます。
- 理解度テストの結果や習熟度によっては、期間を延長または課程の見直しをする場合があります。
- 全ての訓練はフジトレーニングアカデミーにて実施します。
- 实地試験申請(手教用含む)及び航空従事者試験官との調整を含みます。
- 实地試験は、航空従事者試験官が行います
- 实地試験にはフジトレーニングアカデミーの教官が立ち合います(但し、合格を保証するものではありません)。



② AW139操縦士 型式限定変更 (お客様実機受験)

このコースではAW139操縦士型式限定変更受験のために必要な訓練をFTAで実施し、実地試験をお客様実機により受験いただきます。座学および実技訓練の内容については、Leonardo社公認のトレーニングコースの内容に則して実施します。本コース履修により、AW139型について必要な知識と技能を習得をサポートするものです。

受講要件: 回転翼航空機の『事業用操縦士』または『定期運送用操縦士』の航空従事者技能証明
機長時間70時間以上を保有(満たしていない場合は要相談)
有効な航空身体検査証明書

使用教材: Leonardoトレーニングマニュアル、RFM(飛行規程)、Quick Reference Handbook(QRH)、操縦座学教本
受講者は、E-Learning (Computer Based Trainer : CBT) をご利用いただけます。

使用機材: AW139FTD、AW139FFS、AW139モックアップ(Maintenance Training Simulator : MTS)

訓練場所: フジトレーニングアカデミー

1. 学科訓練期間

機種名	Leonardo認定 学科訓練*			FTA学科訓練	合計
	Pre-Entry *	GLAM Transition*	Type Rating	操縦座学(任意)	
AW139	30時間 (5日間)	9時間 (2日間)	60時間 (10日間)	18時間 (3日間)	117時間 (約5週間)

*Leonardo認定学科訓練のうち、Pre-EntryおよびGLAMについてはLeonardo社教官によるオンライン学科訓練(日本語通訳付)となります。

Type Ratingについては、FTA教官による日本語での学科訓練となります。

*Pre-Entry : 回転翼航空機多発限定(LMT)を所有していない場合は受講が必要です。

*GLAM : Glass Cockpit および Auto Pilot の操縦経験が無い場合は受講が必要です。

2. 実技訓練期間

機種名	コース	Leonardo認定 操縦訓練			FTA操縦訓練	合計	実地試験
		VFR Single Pilot		Advanced CAT-A(任意)	総合訓練(任意)		航空局試験官
		FTD	FFS	FFS	FFS		お客様実機
AW139	イニシャル*	6時間 (3日間)	12時間 (6日間)	6時間 (3日間)	6時間 (3日間)	30時間 (約3週間)	2時間 (1日間)
	アディショナル*	4時間 (2日間)	8時間 (4日間)	6時間 (3日間)	6時間 (3日間)	24時間 (約3週間)	2時間 (1日間)

*イニシャル : 回転翼航空機多発限定(LMT)を所有していない場合

*アディショナル : 回転翼航空機多発限定(LMT)を所有している場合

- 訓練終了後にはフジアビエーションシステムズより修了証が発行されます。
- 理解度テストの結果や習熟度によっては、期間を延長または課程の見直しをする場合があります。
- 全ての訓練はフジトレーニングアカデミーにて実施します。
- 実機訓練、実地試験はお客様にて実施いただきます。
- 実地試験申請(手数料含む)及び航空従事者試験官との調整を含みます。



①② AW139操縦士 型式限定変更 訓練内容(1)

3. 学科訓練内容 (Leonardo認定訓練)

Leonardo Pre-Entry Course First MET (Multi Engine Turbine) (30時間 / 5日間)

CONTENTS	CONTENTS
GLASS COCKPIT INTEGRATED INSTRUMENTS – ELECTRONIC DISPLAYS ELECTRICS INERTIAL NAVIGATION AND REFERENCE SYSTEMS (INS AND IRS) FLIGHT MANAGEMENT SYSTEM (F.M.S.) ALERTING SYSTEM, PROXIMITY SYSTEMS FLIGHT CONTROLS HELICOPTER: AUTOMATIC CONTROL SYSTEMS SYSTEM DESIGN LOADS STRESSES MAINTENANCE AND AIRFRAME FUEL SYSTEM	HYDRAULICS LANDING GEAR, WHEELS, TYRES, BRAKES TURBINE ENGINES HELICOPTER ROTOR HEADS HELICOPTER: TRANSMISSION HELICOPTER: BLADES PROTECTION AND DETECTION SYSTEMS PNEUMATICS PRESSURISATION AND AIR CONDITIONING SYSTEMS ANTI AND DE-ICING SYSTEMS MASS & BALANCE PERFORMANCE HELICOPTERS AND APPENDIX A FINAL EXAMINATION (最終日に確認試験を実施)

- ・ Leonardo教官によるオンライン学科訓練(日本語通訳付き)

Leonardo GLAM (Glass Cockpit and Automation Management Course) (9時間 / 2日間)

Module	CONTENTS	RECAP	CONTENTS
Module 1	Introduction to GLAM	RECAP	Review
Module 2	Automation, Friend or Foe?	Case Study	AP Surprises
Module 3	AFCS (Automatic Flight Control System)	Case Study	Inadvertent Descend during Departure
Module 4	Crew Alerting System	Case Study	Multiple Failures
Module 5	Flight Management System and AFCS	Case Study	Automation and SMS
Module 6	Basic Principles for Automation Management	Case Study	Managers Integrity

- ・ Leonardo教官によるオンライン学科訓練(日本語通訳付き)
- ・ 確認試験はありません。

Leonardo AW139 Pilot Type Rating Ground Course (60時間 / 10日間)

ATA No. – CONTENTS	ATA No. – CONTENTS
COMPANY PRESENTATION & SAFETY BRIEFING COURSE INTRODUCTION 00 - HELICOPTER - GENERAL DESCRIPTION 00-03 - COCKPIT LAYOUT 00-40 - TECHNICAL PUBLICATION 06 - DIMENSIONS AND AREAS 15 - AIRCREW INFORMATION (LIMITATION) 31 - INDICATING/RECORDING SYSTEMS 46 - SYSTEM INTEGRATION AND DISPLAY 24 - ELECTRICAL POWER 33 - LIGHTS 23 - COMMUNICATIONS 34 - NAVIGATION 22 - AUTO FLIGHT 53 - FUSELAGE 28 - FUEL	71 - POWER PLANT 26 - FIRE PROTECTION 63 - MAIN ROTOR DRIVE 62 - MAIN ROTOR 65 - TAIL ROTOR DRIVE 64 - TAIL ROTOR 29 - HYDRAULIC POWER 32 - LANDING GEAR 67 - ROTOR FLIGHT CONTROLS 21 - ENVIRONMENTAL CONTROL 30 - ICE AND RAIN PROTECTION 25-60 - EQUIPMENT/FURNISHING 95 - CREW ESCAPE AND SAFETY 08 – LEVELING AND WEIGHING 15-60 – PERFORMANCE DATA FINAL EXAMINATION (最終日に確認試験を実施)

- ・ FTA教官による座学訓練

①② AW139操縦士 型式限定変更 訓練内容(2)

4. 学科訓練内容 (FTA訓練)

AW139限定変更 操縦座学(18時間 / 3日間)

CONTENTS

操縦教本、FTD/FFS飛行時間管理、外部点検 Engine Starting Procedures Use of Flight Management System (FMS) MCDU FLT PLAN 入力方法 Use of Flight Director Helicopter Ground Taxi Vertical Takeoff to the hover Maneuvering Helicopter in Ground Effect Traffic Pattern	CAT-B Take-Off / Approach Straight and level Flight TA級運航方式 TA/TBの各性能表の算出方法 重量重心位置の計算方法 緊急操作対応 CAT-A Clear Area Takeoff / Approach CAT-A Engine Failure during Approach Shut down, Securing the Aircraft
---	--

- ・ FTA教官による座学訓練

5. 操縦訓練内容 (FTA訓練) Flight Training Device (FTD) / Full Flight Simulator (FFS) 使用

AW139 Type Rating VFR (INITIAL:18時間 / 9日間 - Additional :12時間 / 6日間)

Section 1	Pre-Flight Preparation and Checks
Section 2	Flight Maneuvers and Procedures
Section 3	Normal and Abnormal Operations of the Following Systems and Procedures
Section 4	Abnormal and Emergency Procedures
Section 5	(Not Applicable)
Section 6	Use of Optional Equipment
Section 7	CRM Elements

AW139 Advanced Training CAT-A(6時間 / 3日間)

Section 1	Pre-Flight Preparation and Checks
Section 2	Flight Maneuvers and Procedures - CAT-A Clear Area Operations - CAT-A Ground and Elevated Heliport/Helideck Operations - CAT-A Confined Area Operations - CAT-A Short field Take-off
Section 3	Normal and Abnormal Operations of the Following Systems and Procedures
Section 4	Abnormal and Emergency Procedures
Section 7	CRM Elements

AW139 総合訓練(6時間 / 3日間)

訓練	履修科目の復習 航空局実地試験実施細則に従った受験準備
Skill Test	FTA教官による受験前License Skill Test(見極め)

ヘリコプター事故の 8割以上が ヒューマンエラーに起因



操縦士訓練の変遷

機材故障による事故は減少している一方で、航空機の自動化や複雑な運航環境に起因したヒューマンエラーを誘発する事故は減少していないため、操縦士に求められる能力が時代とともに変化してきました。そのためフジトレーニングアカデミーでは、従来のテクニカルスキル訓練に加えてノンテクニカルスキル向上の要素を取り入れたシミュレータ訓練を導入しています。

テクニカルスキル

航空機の操縦技術、航法、機器やシステムの操作、運航に必要な知識などの技術的なスキル

ノンテクニカルスキル

状況認識力、判断力、コミュニケーション等のヒューマンエラーによる事故防止に必要なスキル

フル・フライトシミュレータ訓練の有効性

経験から学ぶ。
行動が変わる。
進化する。

リアルな運航環境での訓練

操縦士は実際の運航環境を模擬してリアルに再現された悪天候や山岳地、機械的故障などの状況下で、意思決定や対応力、ヒューマンエラーへの対処法を学んでゆきます。

ストレスやプレッシャーの再現

孤独感や不安感が増す閉鎖コックピット空間の中で、ストレスやプレッシャーのかかるシナリオ訓練実施により、適切な状況認識力、判断力、行動力などを向上します。

チームワークとコミュニケーション

緊急時の対応や確認し合いながら行う飛行操作など、チームワークが重要なシナリオを模擬することで、複数の操縦士やクルーとの連携やコミュニケーション能力を向上させます。

ヒューマンファクターの研究と改善

操縦士の行動や意思決定、コミュニケーションなどのデータを収集分析することにより、ヒューマンファクターに関連するリスクや問題を特定し、改善策を検討できます。

③ AW139操縦士 緊急操作（選択科目）

実機では実施が困難な訓練や、限界値超過時の機体の挙動、および機器の故障等の緊急事態に安全に対応できる能力を養う訓練をフル・フライト・シミュレータを用いて実施します。
ペアを組んでの訓練実施が効率的で有効ですので、なるべく操縦士二名一組でご参加いただくことをお勧めします。

受講要件: 回転翼航空機の『事業用操縦士』または『定期運送用操縦士』の航空従事者技能証明を所有
アグスタ式AB139型の限定を所有
有効な航空身体検査証明書

使用教材: RFM(飛行規程)、Quick Reference Handbook(QRH)

使用機材: AW139FFS

訓練場所: フジトレーニングアカデミー

1. 訓練期間

訓練種類	学科	ブリーフィング	FFS	期間
AW139緊急操作	6時間(1日) 空間識失調・緊急操作等	訓練の前後に各0.5時間	6時間/人(3日) (2時間/日/人)	4日

■ 実施する時間数および内容については、お客様のご要望に応じることも可能です。お気軽にご相談ください。

2. 訓練パターン例(以下から選択またはご希望の内容をご提示ください。)

種類	訓練内容(例)
共通パターン	1回目(2時間) 狭隘地離着陸、タクシー中の片エンジン故障、CAT-A離着陸中に片エンジン故障、エンジン火災、場外離着陸要領、ブラウンアウト、エンジンチップ、ペダル固着、MAU故障、MGBオイル圧力低下、ホバリング中のテールローター・ドライブシャフト破断
	2回目(2時間) ホットスタート、AHRS故障、両ジェネレーター故障、No.1油圧システム故障、エンジンガバナ故障(燃料マニュアルコントロール)、トリムアクチュエーター暴走、テールローター・ドライブシャフト破断(オートローテーション)
選択パターン ①山岳運用	3回目(2時間) 予期せぬ低視程現象との遭遇、燃料ポンプ故障、BUSTIE OPEN、電気火災、ホイスト救助中の片エンジン故障
選択パターン ②洋上運用	3回目(2時間) 予期せぬ低視程現象との遭遇、夜間の電気火災、離着船時の片エンジン故障、不時着水、ホイスト救助中の片エンジン故障、SARモード

■ 訓練終了後にはフジナビエーションシステムズより修了証が発行されます。

3. 訓練の流れ



③ AW139操縦士 緊急操作（選択科目）続き

AW139FFSを用いた緊急操作訓練で所望の項目がある場合は、下記より選択いただけます。

AW139フル・フライトシミュレータで可能な緊急操作および運用例

システム故障	種類
片エンジン故障	IGE ホバリング中の片ENG 故障、OGE ホバリング中の片ENG 故障(50ft, 100ft) OGE ホバリング中の片エンジン故障時のFly Away手順
エンジン系統	エンジン始動時不具合 (Hot Start、Hung Start、No Light Up、Starter not disengaged) EEC故障(両EEC故障含む)、飛行中のエンジン故障によるシャットダウン判断、エンジンドライブシャフト故障、エンジンパワータービン・オーバースピード、オートローテーション(両エンジン故障)、エンジンチップ
火災	エンジン火災(飛行中)、バゲージベイ故障、電気火災、シャットダウン後のエンジン排気火災
燃料系統	燃料コントロール故障(High side/Low side)、燃料プローブ故障、燃料フィルター閉塞
電気系統	メインバス or エッセンシャルバス故障、両GEN故障、バスタイ故障、メインバッテリー・ホット
油圧系統	油圧低下、ポンプ故障、オイルリーク(EMER LDG GEAR DOWN判断)
トランスミッション	油圧低下、油温上昇、MGBチップ、テールローター・ドライブシャフト故障、テールローターコントロール固着
操縦系統	コレクティブレバー・操縦力増加、フォーストリム故障
ランディングギア	ランディングギア故障(ロック不能)
オートパイロット	AUTO PILOT故障、アクチュエーター暴走、SAS Degrade、オートトリム故障
アビオニクス	AHRS故障、ADS故障、AHRS/ADS MISCOMPARE、MAU故障
運航の種類	種類
ホイスト運用	ホイスト救助中の予期しない片発動機故障及び予期しない視程障害(霧、雨、雪等)
セッティング	セッティング・ウィズ・パワーからの回復操作
空間識失調	空間識失調に陥り易い状況下の飛行(海上、舗装されていないグラウンド、雪、雨)
低視程運用	低視程時におけるEGPWSの有効活用及びTCASの有効活用
TB級運用	TB級離陸、TB級着陸(離着陸時の発動機故障含む)
TA級運用	①障害物のない場所での離着陸方式 ②制約のある場所での離着陸方式 ③地上レベル及び高架ヘリポート/ヘリデッキでの垂直離陸方式、ヘリポートでの着陸方式 ④地上レベル及び高架ヘリポート/ヘリデッキでのバックアップ離陸方式、ヘリポートでの着陸方式 ⑤TA級離陸・進入中の OEI(TDP/LDP前後)
特殊環境	洋上OIL LIG、船舶、屋上HPなど(昼夜間、気象・海象)
計器飛行	ILS, VOR, PBN関連のアプローチ等

エンジン火災模擬



ホワイトアウト



着船訓練



④ AW139操縦士 特定操縦技能審査

AW139型式限定所有者を対象に、AW139FTDまたはAW139FFSを用いて特定操縦技能審査を実施します。

受講要件: 回転翼航空機の『事業用操縦士』または『定期運送用操縦士』の航空従事者技能証明を所有
 アグスタ式AB139型の型式限定変更を所有
 有効な航空身体検査証明書

使用教材: RFM(飛行規程)、Quick Reference Handbook(QRH)

使用機材: AW139FTDまたはAW139FFS

訓練場所: フジトレーニングアカデミー

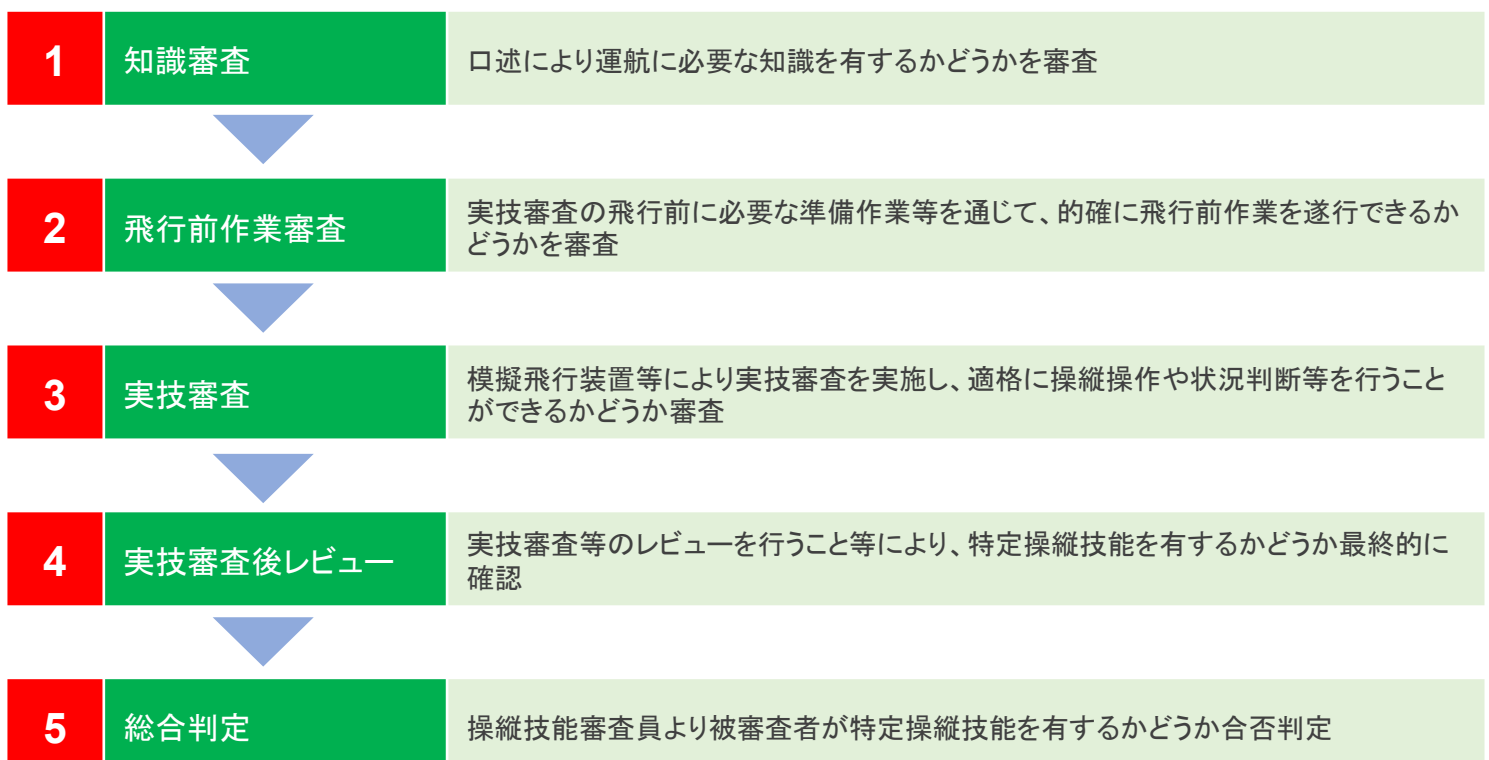
1. 審査期間

機種名	口述審査	FTDまたはFFSによる実技審査	審査後レビュー	所要時間
AW139	約1時間	約0.5時間	約0.5時間	約0.5日

2. 必要書類

項目	内容
事前提出書類	<ul style="list-style-type: none"> 特定操縦技能審査申請書(規則第28号の8様式) 技能証明書の写し 総飛行時間および最近6月の総飛行時間を証する書類(航空機乗組員飛行日誌等)
審査実施時提示	<ul style="list-style-type: none"> 技能証明書(規則第20号様式12. 技能証明-特定操縦技能審査/確認を含む) 口述審査の一部免除を受けようとする場合は、特定操縦技能審査実施要領の3.3.(4)に定める安全講習会の受講を修了したことを証明するもの 航空機乗組員飛行日誌(Pilot Logbook)
参考	<p>【特定操縦技能審査実施要領 3.3.(4)(抜粋)】 「自家用操縦士の技量維持方針に係る指針」(国空乗第2077号平成15年3月28日) による安全講習会を受講した者は、受講日から2年までの間に行われる特定操縦技能審査において、「特定操縦技能審査実施細則」に定める口述審査のうち、「最近の変更点」、「一般知識」については免除とする。</p>

3. 審査の流れ



⑤ AW139 計器飛行技量維持（最近の飛行経験の充足）

計器飛行証明を所有する操縦士が航空法に定める180日間に6時間の最近の飛行経験を満たすための技量維持訓練をAW139 FTDまたはAW139FFSによって行います。

受講要件: 回転翼航空機の『事業用操縦士』または『定期運送用操縦士』の航空従事者技能証明を所有
 アグスタ式AB139型の限定を所有
 計器飛行証明を所有

使用教材: 訓練資料

使用機材: AW139FTD

訓練場所: フジトレーニングアカデミー



1. 訓練期間

種類	ブリーフィング	FTD訓練	期間
AW139	訓練の前後に各0.5時間	1回あたり2時間+離着陸(VFR)10分でご希望に応じた時間数を実施	所望の時間数及び日数

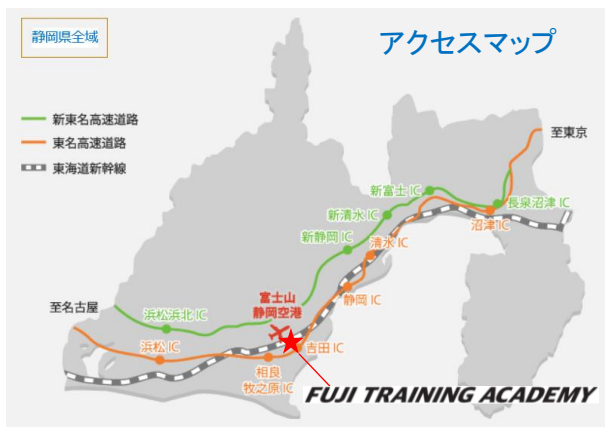
2. 訓練内容

分類	実施内容(例)
FTD訓練	基本計器飛行、SID、STAR、ホールディング、IFR Approach(精密・非精密)、IFRナビゲーション、オートパイロットやFMSを活用した飛行、計器気象状態でのシステム故障、管制交話、スタンダードコールアウト、予期しない計器気象状の遭遇時の対処、その他ご要望に応じた訓練

■ 訓練終了後にはフジアビエーションシステムズより修了証が発行されます。



株式会社フジアビエーションシステムズ
フジトレーニングアカデミー



〒421-0411 静岡県牧之原市坂口2053-1
TEL (0548) 23-3118 FAX (0548) 23-3117
<https://www.fuji-aviation.co.jp/>
e-mail: info@fuji-aviation.co.jp

- 電車・バス** JR藤枝駅南口より、富士山静岡空港アクセスバス乗車『空港南』バス停で下車(約40分)
- 飛行機** 富士山静岡空港からは、アクセスバス(約7分) またはタクシー(約5分)
- お車** 東名高速道路『吉田IC』より7.6Km、約12分
東名高速道路『相良牧之原IC』より10.5Km、約15分



鈴与航空事業グループ企業

フジトレーニングアカデミーは、鈴与航空事業グループ企業であるフジアビエーションシステムズのヘリコプター訓練部門です。

- 株式会社フジアビエーションシステムズ
- 静岡エアコンピュータ株式会社
- 静岡航空整備株式会社

- 株式会社フジドリームエアラインズ
- フジビジネスジェット株式会社
- 鈴与スカイホールディングス株式会社

- 株式会社ドリームスカイ名古屋
- 中部スカイサポート株式会社
- 株式会社鈴与エアポートサービス